

第9回丹波市自治協議会のあり方懇話会概要

日時：令和元年 10月1日
 場所：山南住民センター集会室
 会議の詳細は
 丹波市ホームページへ



第9回丹波市自治協議会のあり方懇話会を開催しました。
 第9回は、まとめ（提言）にかかる骨子を中心に今まで協議した内容を振り返り整理するとともに、今後の行政等からの支援の仕方・仕組みについても議論が展開されました。



◎これまでの振り返り

【協議項目】

○自治協議会のあり方懇話会からの提言骨子（案）

協議項目別整理

○自治会と自治協議会のあり方

- ・自治会（単位）と自治協議会の連携
- ・自治会長会と自治協議会について
 - ①自治会と自治協議会のあり方（組織、活動）
 - ②自治会と自治協議会のあり方（情報共有・意思疎通）

○地域づくり計画のあり方

- ・行事遂行型から課題解決型へ（事業の棚卸しを行い必要なものは継続）
- ・人口減少、少子高齢化など地域課題に対応できる地域計画の作成
- ・地域経営の戦略的展開（施策連携）
 - ③地域づくり計画のあり方

○行政との連携のあり方

- ④事業展開の上での連携体制の構築（交付金等）
- ⑤まちづくり指導員、市職員のあり方
- ⑥双方向の情報共有と協働体制の構築

○行政に影響されない（頼らない）地域経営のあり方

- ⑦自主財源の確立、コミュニティビジネスの展開
- ⑧総働や多様な人材が参画する機能的な運営

○人材育成のあり方

- ⑨若者や女性の参画を通じた人材育成
- ⑩潜在的な地域の人材の掘り起こし、高齢者の活躍の場づくり

【骨子の補足説明】

骨子大項目	説明
1～3	中間報告（H30）までに確認した内容を中心に整理 「みんなで楽しくまちづくり」多様な団体個人が参画する組織
4	中間報告（H30）の協議や研修で確認した参考となる事例及び小規模多機能自治の代表的な事例を提示
5～7	★「みんなで楽しくまちづくり」のため考えた論点項目（R元） ① 自治会と自治協議会のあり方 ② 地域づくり計画のあり方 ③ 行政との連携のあり方 ④ 行政に影響されない（頼らない）地域経営のあり方 ⑤ 人材育成のあり方 ★あり方懇話会が考える自治協議会の姿 ○目指すべき自治協議会実現に向けた支援策
8	今後、地域で組織や活動をそれぞれに考えていく際に、参考となる情報や資料を掲載

※★印は、第9回で協議する内容 ○印は、市が検討する支援策

【委員からの主な意見】

